

NETIS登録番号	技術名称	コップルボックス			
QS-120028-A	副題	プレキャストコンクリートによる枠型の沈床工			
分類1	河川維持	沈床工	その他	キーワード:コスト縮減、生産性の向上、 施工の省力化	
分類2					
開発目標	省力化				
技術の位置付け	<input type="checkbox"/> 推奨技術 <input type="checkbox"/> 準推奨技術 <input type="checkbox"/> 活用促進技術 <input type="checkbox"/> 設計比較対象技術 <input type="checkbox"/> 少実績優良技術				
特許	<input type="checkbox"/> 有り(特許番号:) <input checked="" type="checkbox"/> なし				
技術賞, 審査証明等	<input type="checkbox"/> ものづくり日本大賞 <input type="checkbox"/> 国土技術開発賞 <input type="checkbox"/> 学会賞 <input type="checkbox"/> 建設技術審査証明				
問合せ先	会社名	共和コンクリート工業 株式会社		TEL	092-262-5755
	住所	福岡県福岡市博多区店屋町8番24号 九勸呉服町ビル4階		E-MAIL	takahashi.h
	担当者	高橋 秀徳			@kyowa-concrete.co.jp
実績件数 H26.8.31現在	国土交通省		その他の公共機関		民間等
	4件		16件		0件

技術概要:(300字以内)

・改良沈床工(コンクリート製)の縦材と横材を一体化した製品である。

新規性

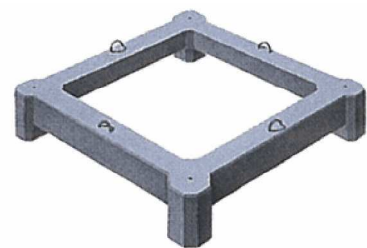
- ・改良沈床工(コンクリート製)の縦材と横材を一体化しました。
- ・ブロックの四隅に丸みを持たせました。

期待される効果

- ・改良沈床工(コンクリート製)の縦材と横材を一体化したため、施工手間が軽減され、工期短縮が図れます。
- ・水中施工時も従来技術より施工が容易となる。
- ・流石などが接触した場合でも、ブロックへの損傷を低減できる。

留意事項

- ・設計流速が5m/s以下であるかを確認します。
- ・中詰石の径を計算する場合は「護岸の力学設計法」掃流・中詰めモデル等を用います。
- ・設計地点付近に人頭大の転石、流木等の恐れが無いかの確認が必要となります。



コップルボックス

施工単価

項目	仕様	数量	単位	単価	金額	摘要
労務費	機械賃料含む	1	m2	2,842	2,842	
材料費	ブロック代	1	m2	21,926	21,926	
副材料費	鉄筋・鉄線・連結金具	1	m2	2,120	2,120	
諸雑費	-	1	式	12	12	
合計					26,900	1m2あたり

施工方法

- ① 床均しを行います。
- ② 底版のコップルボックス(B形)を設置します。
- ③ コップルボックス(B形)の四隅に連結鉄筋を通します。
- ④ 枠材のコップルボックス(A形)を設置します。



- ⑤ コップルボックス(A形)を1段設置した後、中詰め石を投入します。

規定の高さまで、この作業を繰り返し行います。

- ⑥ 規定高さまで設置した後、連結鉄筋をナットで締めます。

- ⑦ シャックルで隣同士のブロックを連結します。

